

メキシコ留学日記 3月号

見山達哉

現在、メキシコでもコロナウイルスの影響で、学校やショッピングモールが閉鎖しております。感染者数は他国に比べても少ないのですが、対策措置は日本よりも比較的早く、多くの場所が早々に閉鎖しました。以前は屋台や人であふれて活気のあった街も、今ではゴーストタウンのように非常に閑散としており、とても寂しく思います。

さて、今回のレポートでは、まだコロナウイルスの影響が深刻でない頃に訪れた、オアハカ州にあるビーチリゾート、Huatulco(ウアツルコ)の魅力についてお伝えしたいと思います。

Huatulco

Huatulco(ウアツルコ)はオアハカ州の沿岸部に位置するビーチリゾートです。入江が入り組む地形となっており、36ものビーチがあります。また、自然保護区もあり、多様な生物がいるため、シュノーケリング等の様々なアクティビティを楽しむことができます。メキシコシティからは飛行機で行くことができ、約1時間半程で到着します。バスで行くこともできますが、まずオアハカのセントロへ行き、そこから乗り換える必要があるため、移動に1日費やすことになってしまいます。そのため、時間がない方は飛行機で行くことをおすすめします。私は2泊3日の小旅行で行ったため、飛行機を利用しました。

Huatulco(ウアツルコ)では、中心部から約4キロ程離れているビーチ、Playa La Entrega(プラジャ・ラ・エントレガ)へ行きました。こじんまりとしたビーチで、人もあまり多くなく、とても良い雰囲気でした。私はそこでシュノーケリングのツアーに参加しました。海は透き通っており、様々な種類の魚を見ることができ、大満足のツアーとなりました。しかし翌日、重度の日焼けで行動するのが辛くなってしまったので、日焼け止めは必須です。

Cancun(カンクン)等の他のビーチリゾートと比べ、Huatulco(ウアツルコ)はとても静かな印象を受けました。また、物価は他のビーチリゾートに比べ、比較的安めだと思います。まだ、日本語での情報が少ないことからわかるように、外国人観光客は全体的に少なく、穴場であると思います。私は訪れることができませんでしたが、自然保護区や滝、プライベート感満載のビーチなど他にも見どころがたくさんあります。ビーチリゾートへ訪れる際には是非、Huatulco(ウアツルコ)も検討することもおすすめいたします。



(Playa La Entrega)





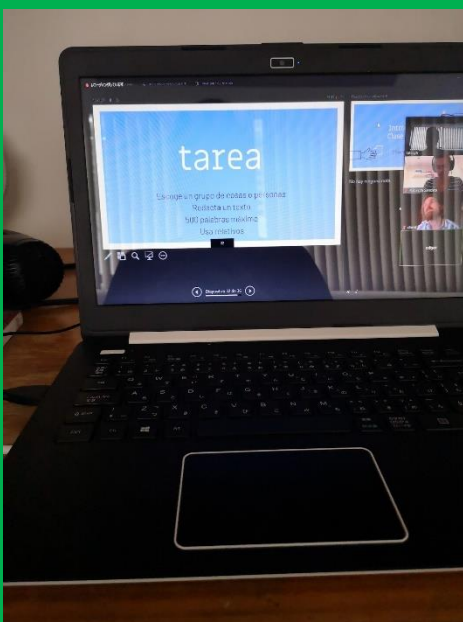
(中心部のレストランのアルゼンチンステーキ)

近況報告

現在、メキシコでも外出自粛要請が出ており、家で1日を過ごす日々が続いております。CEPE(メキシコ国立自治大学附属語学学校)もオンライン授業に切り替わり、Zoom を利用し授業を受けております。1日中家にいると無意識のうちにストレスが溜まってしまうことがあります。そんな時は、スーパーへ行き、手の込んだ料理を作ったり、Uber Eats を利用して甘いものを食べたりすることが良い息抜きとなっております。

メキシコでは外出自粛要請が出ているものの、多くの貧困層の人々は外に出て働かなければならないため、公共交通機関などで人々の接触は避けられず、ウイルスへの対策が万全ではないというのが現状です。そのため、メキシコでコロナウイルスが大流行する可能性は大いにあります。現在はショッピングモール等の人が集まりやすい場所は閉鎖し、レストランはお持ち帰りのみとなったため、外へ出ている人はだいぶ減りました。しかし、それで生計を立てている人々のことを考えると非常に胸が痛くなります。

今後どうなるかは、まったくわからない状況となってしまいましたが、またいつも通りの生活がすぐに戻ってくることを祈るばかりです。今回のレポートはここまでとなります。来月のレポートでは、コロナウイルス下の生活情報をさらに詳しくお伝え出来たらと思います。それではまた、Hasta luego!!



(オンライン授業の様子)